

寄席の文化を若い世代へ 郡上種まき寄席の会



2025年種まき寄席の
学生ボランティアのみなさんと

郡上種まき寄席をスタートして、早3年。今年で3回目を迎えます。郡上八幡に移住された俳優の近藤正臣さんの「郡上の若い人たちに落語の種を蒔きたい！」との熱い思いに賛同した有志のメンバー10人程で立ち上げた「種まき寄席の会」が運営をし、2024年は美並、2025年は大和・白鳥・高鷲地域、2026年の今年は八幡・和良・明宝地域を開催エリアとして、郡上市の旧7か町村全域で開催を目指してきました。毎回、地域の中学生および市内の高校生のボランティアさんたちと共に、舞台を作り上げてきております。

郡上八幡では昭和50年から郡

郡上の地域資源を生かし、地域の課題を解決する
新しいプロジェクトが始まっています！

上八幡大寄席が毎年のように開催され、喫茶門の古池五十鈴さんにお話を聞くと、初回から永六輔さん、桂米朝さんをはじめ錚々たる師匠たちがお越しくださっています。なぜかとも著大な作家さんたちが、わざわざ！と驚きますが、郡上には通いたくなる風土、作家さんたちをもてなす教養ある文化人たちがいた、という理由もあります。それは郡上が誇ることだと思いますが、それを我々で継いでいくのか？正直、震えます。

今年8月28日の第3回種まき寄席は、今一番チケットが取れない作家として有名な春風亭一之輔さんにお越しいただきますが、実はそのきっかけになったのが関市の蕎麦の名店、助六さんです。助六さんは郡上八幡大寄席の時代からボランティアスタッフとして郡上八幡に通い、こんな寄席を関市でも開催したい！と作家さんたちを訪ね、「関まちなか寄席」を30回開催されてきました。一之輔師匠をお招きできることになったのも、その縁からです。今度は助六さんはじめ大寄席の時代の先輩方から我々メンバーが教えていただき、知識不足ではありますが、なんとか開催を続け

今年の寄席のチラシ

イラスト…上田光子
デザイン…美濃島聖也



ていくことができいております。興業ではなく、暮らす人の手で作られ、次世代に引き継がれるのが郡上の文化。

最後は、寄席の打ち合わせの時の近藤さんの言葉で締めたいと思います。「君はこの町をどう思う？これから人口はどんどん減るでしょう。でもね、この町は人がいなくても遊びのパワーがある。そういうところに人はね、勝手に寄つてくる！」

郡上種まき寄席の会

tanemaki.yose@gmail.com

代表 藤沢百合／清水治樹／
上田晋市／美濃島聖也／田尻ユミ／熊田郁子／松本智世子／上田光子／梶山愛理／中村竜一／
上村大輔／渡辺晋



Instagram

市民のみなさん・郡上を離れている人や学生とその保護者へ

市内企業の
魅力をご紹介します！

郡上で働こ！

VOL.11

本物そつくりの驚きと感動を世界へ

「強みを教えてください」
食品サンプル業界のバイオニアとして、本物以上に「おいしそう」と感じてもらえる作品づくりを続けています。一つひとつを手作業で仕上げ、色合いやツヤ、質感まで細かく表現する技術力が大きな強みです。自社ブランド商品の開発、一般消費者向け事業にも力を入れ、Amazonを通じてネット販売も展開しています。また、ヨーロッパやアジアをはじめ海外の展示会へ出展し、世界的に有名なデザイナーから依頼を受けます。さらに、高い評価を得ています。さらに、独身寮を完備するなど働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

「メッセージをどうぞ」
人を笑顔にできる職人に憧れて入社しました。色合いの調整など繊細な技術が必要ですが、私の根本にあるのは「サンプルを作ることが好きで楽しくて幸せ」という強い気持ちです。初めて手掛けた製品を店頭でお客様が喜んで手に取る姿を見た時の感動は、今でも忘れられません。郡上は移住者への支援制度が充実しており、美しい自然に囲まれて、県外出身の私も安心して生活を始めることができます。職場も第二の家族のように温かく、本当に働きやすい環境です。ぜひ一緒に楽しみましょう！
(勝山歩美さん)

クオリティーの高い食品サンプルを手作業で作っています



勝山歩美さん

《お問合わせ》
郡上市雇用対策協議会
☎67-1808

郡上市雇用対策協議会
ホームページで情報をキャッチ→



(株)岩崎総合研究所
ホームページはこちら→



(株)岩崎総合研究所